

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ケニス(株) 新物流センター新築工事	階数	地上3F
建設地	大阪府門真市三ツ島一丁目	構造	S造
用途地域	第1種住居、第2種住居、準防火	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,680時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年11月9日
敷地面積	4,480㎡	作成者	(株)浦野設計 関西支社
建築面積	2,601㎡	確認日	2020年11月18日
延床面積	5,033㎡	確認者	(株)浦野設計 関西支社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 92 (kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 84%

④ 上記+: 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
・地域の景観形成に配慮した配置・建物・外構計画。	・特になし。
Q1 室内環境 ・対象外。	Q2 サービス性能 ・階高は十分な高さを確保。
Q3 室外環境(敷地内) ・建物高さや壁面位置の配慮による良好な景観形成。 ・敷地全周を緑化。	LR1 エネルギー ・LED照明器具を採用し、省エネルギー性に配慮。
LR2 資源・マテリアル ・自動水栓及び節水型便器を採用し、省エネルギー性に配慮。	LR3 敷地外環境 ・駐車場や自転車置場を適正に確保し、敷地外環境に配慮。 ・広告物照明なし

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0101

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	ケニス株式会社 新物流センター新築工事					
		建設地	大阪府門真市三ツ島一丁目					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減	★★★★★			4			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2			
③	建物の断熱性	★★★★★			評価対象外			
④	エネルギー削減	★★★★★			4			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.2	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								